



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

2 学期を成長の機会にする「3つの鍵」

長い夏休みが明け、子どもたちの元気な笑顔とともに 2 学期がスタートしました。実りの多い 2 学期にするため、始業式では校長より子どもたちへ「成長のための 3 つの鍵」について話をしました。

1 つ目の鍵：「心のスイッチを入れる」

朝の「元気なあいさつ」と「規則正しい生活」で、学校生活モードへ気持ちを切り替える。

2 つ目の鍵：「はじめの一步を踏み出す」

失敗を恐れず、新しい学習や行事に勇気を出して挑戦する。小さな行動が成長につながる。

3 つ目の鍵：「魔法の言葉（いっしょにやってみよう）を使う」

1 人で悩まず、友達と「いっしょにやってみよう」と声を掛け合い、支え合って乗り越えていく。

最後に、最高学年である 6 年生への期待と、**笑顔あふれる最高の 2 学期にしよう**という励ましの言葉で締めくくりました。

今学期も、子どもたちの「はじめの一步」をあたたかく見守り、応援していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



【夏休みの出来事を振り返って】

この夏休みは、日本各地で自然の厳しさを痛感させられる出来事が相次ぎました。熊本での大地震や千葉・北陸を襲った記録的な豪雨では、多くの方々が被害に遭われ、いまなお不自由な避難生活を余儀なくされているニュースに心が痛みます。平穏な日常が一瞬で奪われる災害の恐ろしさを改めて思い知らされました。

一方で、私たちの住む香川県では「猛暑」と「深刻な水不足」が大きな試練となりました。観測史上初となる 40.0 度の「酷暑日」を財田町で記録した暑さもさることながら、特に深刻なのが徳島県・高知県を含む四国全体を揺るがしている早明浦ダムの節水状況です。18 年ぶりとなる「第 4 次取水制限」まで追い込まれ、ダムの貯水率が 20% 近くまで下がっている光景には大きな危機感を覚えます。

9 月下旬にかけても晴れの日が多く雨が少ない見通しとのことで、水不足の解消にはまだ時間がかかりそうです。昔から「節水」が呼びかけられてきた香川県ですが、改めて一人ひとりが日頃の水の使い方を見直し、無駄を減らす意識をもつことが今すぐできる大切な行動だと実感しています。

当たり前にある日々の平和や「水」のありがたさを改めて実感させられた夏でした。2 学期も熱中症対策を徹底するとともに、ご家庭でも節水への協力や防災への備えについて、ぜひお子さんと話し合ってみてください。

